資料２

令和５年度における地域防犯の取組について
～第３次犯罪のない安全で安心なまちづくり等基本計画の取組状況～

○基本方針１：自らの安全を確保するため、市民一人ひとりの防犯に対する関心を高める

⑴　啓発

出前講座（防犯講話）

・防犯カメラを生かしたまちづくり
・子どもの防犯教室
・子どもの防犯教室（保護者向け講座）
・振り込め詐欺被害に遭わないために
・女性の犯罪被害防止について
・インターネット・ＳＮＳの脅威

【実施回数及び受講者数】
令和５年度　67 回、4,058 人
令和４年度　57 回、4,517 人
令和３年度　24 回、2,044 人



安全安心パネル展

防犯をテーマとしたパネルや書画による啓発を令和５年 10 月から 11 月に区役所及びチ･カ・ホ（札幌駅前通地下広場）で実施



街頭啓発

①特殊詐欺被害防止に関する街頭啓発
　北海道警察と連携し、特殊詐欺被害防止に関する街頭啓発を令和５年５月 11 日にチ･カ･ホ（札幌駅前通地下広場）で実施
②犯罪被害者支援等に関する街頭啓発
　関係団体等と協力し、犯罪被害者支援等に関する街頭啓発を令和５年 11 月 24 日にサッポロファクトリーで実施



⑵　広報

敬老の日に向けた特殊詐欺被害防止の取組

①特殊詐欺被害防止に関する啓発チラシ作成
　具体的な手口や注意点の例示、警察の相談ダイヤル（＃9110）を紹介
②区役所等における啓発の強化
　各区役所及びまちづくりセンターにおいて、地域の方々への出前講座の積極的な活用の周知や啓発チラシの配布を実施
③民間企業への啓発チラシの配布
　民間企業に啓発チラシの配布を依頼（協力企業 22 社、啓発チラシ配布 12,000 部）
④ホームページの充実及びＳＮＳの活用
　市ホームページにおいて、具体的な手口等を新たに掲載するとともに、市公式 LINE や X（旧 Twitter）を活用した啓発を実施
⑤中央図書館における特集コーナー設置
　詐欺関連の書籍を展示する特集コーナー「STOP！詐欺被害」を設置（令和５年８月 24 日～10 月 10 日）





民生委員と協力した振り込め詐欺被害防止対策

　民生委員に協力をいただき、高齢者宅訪問時において、振り込め詐欺被害防止にかかる広報用チラシ（北海道警察と合同作成）を配布するとともに、詐欺被害の防止に向けた注意喚起を実施



女性の防犯ハンドブックの作成・配布

　ひったくりや痴漢などの犯罪に遭わないようにするため、注意すべきポイントを分かりやすく掲載したハンドブックを作成するとともに、４月に市内の全高校１年生に約 15,000 部を配布することで、防犯意識の向上を促進



みんなの安全・安心ハンドブックの作成・配布	
子どもが誘拐などの犯罪に遭わないようにするため、注意すべきポイントを分かりやすく掲載したハンドブックを作成するとともに、市内の全新入学児童に配布することで、防犯意識の向上を促進	

○基本方針２：みんなの暮らしを守るため、お互いに協力し支え合うまちをつくる

⑴　防犯活動促進及び子どもの見守り

ながら見守り活動	
通勤や通学、犬の散歩など個人や企業の日常活動の中で防犯の視点を持って地域の見守りを行っていただく活動で、登録者にオリジナルグッズ配布等の支援を実施 【登録数】 6,837 人 207 団体・事業者	
札幌市子ども 110 番の家支援	
①登録者へのステッカー、手引きの配布 子ども達が駆け込むことができる避難所として、目印となるステッカーや万一の際にとるべき行動についてまとめた手引きを登録者に配布 ②登録者に対する見舞金補償制度の実施 子どもが避難した際に物的、人的損害が発生した場合、見舞金を支払う制度を実施 ③登録者マップの作成 町内会や小学校区等の実施団体単位でマップを作成し、各実施団体等に配布 【登録数】 令和５年度　10,513 件 令和４年度　10,635 件 令和３年度　10,445 件	 子ども 110 番の家ステッカー

地域安全サポーターズ

事業者等が札幌市内における安全・安心の実現に向け、「社用車等による防犯パトロール」、「事務所等を子どもの駆け込み場所に設定」、「環境美化活動」などの防犯活動に取り組む制度を推進

【登録数】
令和５年度　2,087 件
令和４年度　2,045 件
令和３年度　1,978 件



札幌市安全で安心なまちづくり功労者表彰

多年にわたり、防犯活動にもしくは更生保護活動に貢献されている個人や団体等を表彰することにより、安全で安心なまちづくりに対する市民の理解増進及び地域防犯活動などの一層の拡大促進を目指すもので、令和５年度は 11 月 10 日に表彰式を実施

【令和５年度受賞者】
防犯部門
個人５名、６団体、１事業者

更生保護部門
個人 15 名



防犯部門



更生保護部門

⑵　協働による連携体制の充実

札幌市犯罪のない安全で安心なまちづくり等協議会

地域、事業者、札幌市が連携・協力して防犯の取組を進めるため、情報や取組の共有を目的として令和６年３月６日に実施



○基本方針３：犯罪が起きにくいまちをつくるため、環境の安全性を高める

⑴　市民自らが行う環境整備促進

町内会への防犯カメラ設置補助

平成 30 年度から町内会への防犯カメラ設置補助事業を開始し、これまでに 133 団体に対して 407 台（累計）の設置補助を行った。

【町内会数・設置台数】
令和５年度　27 団体、97 台
令和４年度　21 団体、79 台
令和３年度　16 団体、51 台


建物外壁に設置


電柱に設置

⑵　歓楽街対策

クリーン薄野活性化連絡協議会総会及び防犯部会

ススキノ地区における安全・安心の実現に向け、関係機関、団体等との意見交換等を令和５年 10 月 28 日に実施



薄野歓楽街におけるパトロール

関係機関、団体等が集い、薄野地区における安全・安心の実現に向けた防犯パトロールを令和５年８月 24 日及び 12 月 15 日に実施



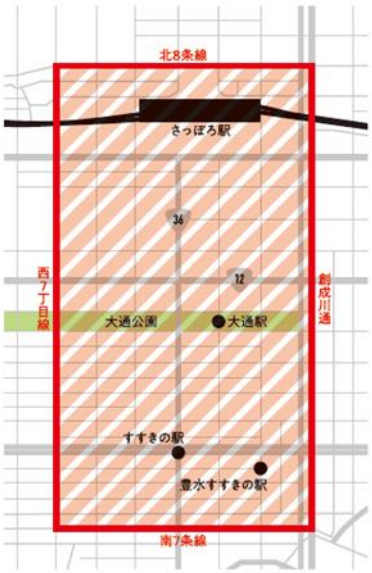
札幌市客引き行為等の防止に関する条例

市内中心部の禁止区域で行われる客引き行為や勧誘行為等を防止するため令和４年４月から施行しており、客引き行為等防止指導員が毎日区域内を巡回して客引き行為等を行う者に対し指導等を実施

※禁止区域の範囲

① 市道北８条線、市道西７丁目線、市道南７条線、創成川通に囲まれた区域内の公共の場所

② 民間事業者が管理する公共の場所で、要請に基づき禁止区域に定める場所



ア　指導等の状況（令和５年４月１日～令和６年２月 29 日）

（単位：件）

指導の内訳	口頭指導	指導	勧告	命令	合計
客引き行為	31	35	1	0	67
客待ち行為	7,836	0	0	0	7,836
勧誘行為	19	1	0	0	20
勧誘待ち行為	335	0	0	0	335
合計	**8,221**	**36**	**1**	**0**	**8,258**

イ　客引き行為等の実態調査結果

札幌駅周辺、狸小路周辺、すすきの交差点周辺、南３条～南７条周辺を調査範囲とし、特定の者に対し客引き行為等を行った者をカウント

（単位：人）

	Ｒ３調査	Ｒ４調査	Ｒ５調査（※）										Ｒ４との比較
			６月	７月	８月	９月	10月	11月	12月	1月	2月	平均値	
禁止区域内　計	**54.9**	**28.8**	**34.0**	**51.4**	**56.8**	**52.6**	**25.0**	**29.2**	**22.8**	**32.2**	**41.0**	**38.3**	**＋　9.5**
札幌駅周辺	4.4	5.2	2.6	4.0	4.2	3.2	1.8	1.6	2.0	2.0	1.4	2.5	▲　2.6
狸小路周辺	7.6	2.8	1.8	3.2	2.8	1.6	2.2	2.6	2.4	2.8	4.2	2.6	▲　0.2
すすきの交差点周辺	29.7	12.5	24.4	32.2	37.0	35.4	14.2	17.4	11.6	15.4	22.8	23.4	＋ 10.9
南３～７条周辺	13.2	8.4	5.2	12.0	12.8	12.4	6.8	7.6	6.8	12.0	12.6	9.8	＋　1.4

※　Ｒ５調査

○　調査日は令和５年６月から令和６年３月の各月１回実施

○　調査時間は 18 時から 23 時とし、調査時間１時間あたりの平均値を小数点第２位で四捨五入し算出

○基本方針４：犯罪被害者等が再び平穏な生活を営むことができるよう支援する

情報発信・広報啓発

犯罪被害者等に関する市民の正しい理解促進を目的とした市民セミナーを北海道及び北海道警察と令和５年 10 月 20 日に共催し、窓口対応等での二次被害の防止等を目的とした職員研修を令和６年１月 24 日に実施

相談窓口の設置・情報提供

犯罪被害者等が日常生活を円滑に営むことができるよう総合的対応窓口や各種相談窓口を設置

犯罪被害者等支援制度

犯罪の被害に遭われた方やそのご遺族・ご家族に対し、心身の早期回復を目的に支援金の支給や日常生活の支援を行う制度

【対象となる方】
犯罪の被害により亡くなった方のご遺族、全治 1 か月以上の傷害を負った方、性犯罪を受けた方とそのご家族

（単位：件・円）

支給実績	令和３年度 支給人数：67 人 （男性 25 人、女性 42 人）※1		令和４年度 支給人数：68 人 （男性 31 人、女性 37 人）※1		令和５年度 （２月末時点） 支給人数：74 人 （男性 33 人、女性 41 人）※1	
	件数 ※2	金額	件数 ※2	金額	件数 ※2	金額
遺族支援金	4	1,200,000	2	600,000	4	1,200,000
重傷病 支援金	39	3,900,000	48	4,800,000	36	3,600,000
性犯罪被害 支援金	23	2,300,000	13	1,300,000	30	3,000,000
転居費用 助成	3	507,620	10	1,584,980	2	371,572
家賃助成	3	300,000	2	450,000	0	0
精神医療費 助成	8	102,390	5	42,390	1	2,380
ｶｳﾝｾﾘﾝｸﾞ 費用助成	1	40,000	3	90,000	2	42,100
回復行為 費用助成	0	0	1	6,700	2	96,900
合計	81	8,350,010	84	8,874,070	77	8,312,952

※1　男女別内訳については、被害者の性別により算出
※2　性犯罪＋転居＋精神医療など複数の支援・助成をした場合は、
それぞれ１件として計上